

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ナチュラルスウィング	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.460	△RG	0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ナチュラルスウィング

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：モーメントスウィング・スペシャルエディション

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

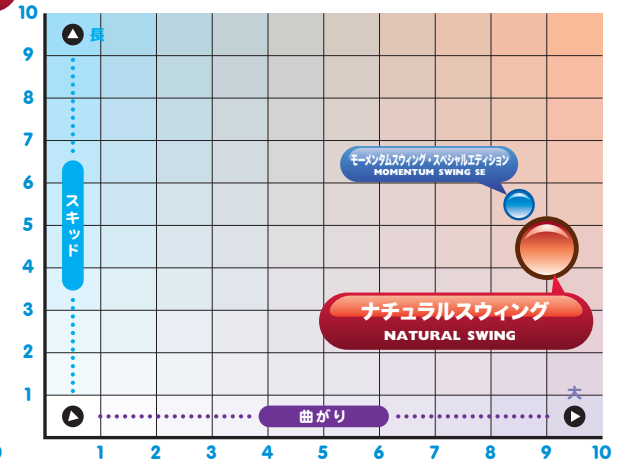
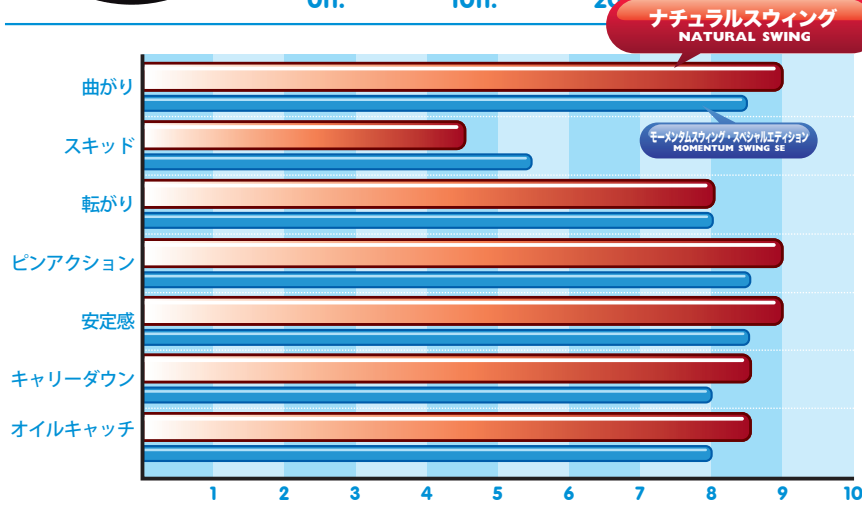
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

前回発売されたSWING SE (Special Edition)は数量限定ということもあり、発売日を待たずしてバックオーダーですでに完売。日進月歩であるボール開発事情において今もモーメントスウィングは第一線で活躍できる性能であり、初代モーメントスウィングから今尚スウィングファンが多いことに驚かされます。

今回発売するナチュラルSWINGは、初代モーメントスウィングと同等の「スイートスポット位置」を確保しながらSWING SEのバックエンドリアクションを兼ね備えたSWING強化モデルです。

前回のSWING SEはボールを混入することでスキッドを増やし、「スイートスポット」を遅らせることによりバックエンドにそのパワーを反映させるものでした。しかし今回ナチュラルSWINGに求めたものは如何にモーメントスウィングと同じ安定したミッドエリア上でのスイートスポットを確保しながら、オイルに対しての強さと、モーメントスウィング以上のバックエンドモーションを実現させられるかどうか。

このナチュラルSWINGを投球すれば、「SWING SEは過程であり、モーメントスウィングでも序曲」として「進化」した性能を感じて頂けると思います。

現在コロンビア社はSWINGの後継としてPURE PHYSICSも発売されています。ボールのリアクション性能の好みは千差万別。PHYSICS系の曲がりの方が好みなのか、SWING系の曲がりの方が好みなのか。

ボウラーのタイプや好みに合わせ、コロンビア社のこの2種で是非オイリーなコンディションにお役立てください。

特記事項

ナチュラルが示す、ほぼ初代モーメントスウィングと同等の設定ながらバックエンドモーションをさらに強化。インターナショナル限定の進化したSWINGをその手でお試ください。